

は周波数と音名が表示されるタイプがありますのでインストールしておくに頼りになり便利です。

●2回に分けて交換する方法→ドとソを音の基準として残しておく

●切断前に、弦の張力を指で触って確認、覚えておきます

1、交換する弦の切断→ チューニングピンに調律ハンドルを被せ、左に回して張力を緩める。(2回転程)

弦をニッパーで切る！(チューニングピン側10cm辺り)

※弦の先端は針のようです。目や、指を気づけけないよう配慮して、ラジオペンチで取り除いてください

この機会に、本体のクリーンアップをしましょう♪

●やわらかい布で拭く

●こびりついた汚れは、台所洗剤を熱いお湯で希釈してタオルに浸し、硬く絞って本体を拭く。水分が残らないように乾かす。

組子の麻の葉紋にがたつきがありましたら、

「強力セメダイン、多用途 瞬間接着剤」(液量コントロール 先端ノズル付き)で接着部分を補強してください。

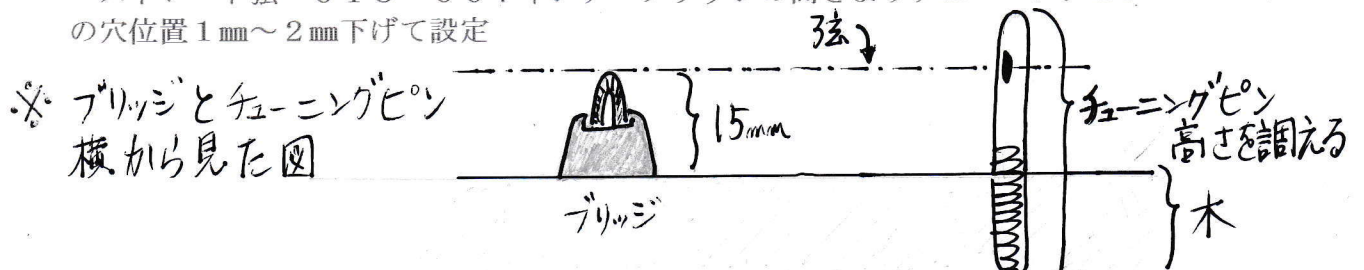
2 (重要!) チューニングピンの穴の位置、穴の向きをそろえる♪

チューニングピンは、弦を3回転半巻き込んだ状態の高さです。

このピンの穴の高さをブリッジの高さと同じか1ミリ低く設定します(目線で確認)巻き戻すということです。チューニングピンの位置が巻き込む前の位置になります。

(参考) 巻弦 0.56インチ~0.22インチ ブリッジの高さとチューニングピンの穴の位置同じ高さに設定

ストレート弦 0.18~0.07インチ ブリッジの高さよりチューニングピンの穴位置1mm~2mm下げて設定



3. 弦の取り付け ブリッジを置く位置のバランスを見るため、低音弦と高音弦を取り付けます

